

平成28年度
商店街通行量調査
結果報告書

平成29年3月
熊本市・熊本商工会議所

はじめに

現在の国の経済情勢については、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いております。しかし、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となっており、海外経済の不確実性など経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、商店街を取り巻く環境は厳しく、郊外大型店のほか、ドラッグストア、ディスカウントストア等の出店をはじめ、プライベートブランドによる低価格化やインターネットショッピングの普及など、小売業全体における競争が厳しさを増しております。また、商店街としても商店主の高齢化や後継者不足など、様々な課題を抱えている状況にあります。

加えて、昨年4月に発生した熊本地震により、商店街のみならず、住宅や観光施設・道路等に甚大な被害を受けました。現在、震災復興計画に基づきこれらの復旧・復興へ向け全力で取り組みを進めているところでございます。

商店街の活性化を検討する上では、震災による影響を踏まえつつ、従来の商業集積地・消費地としての機能はもとより、住民の交流拠点・憩いの場、防犯・防災等の自治活動の主体、地域コミュニティの担い手としての機能と役割の重要性が高まっていることを踏まえ、ニーズに応じた実効性のある取り組みにつなげることが大切であります。

本調査は、市内主要商業地の利用状況の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に資することを目的に、昭和43年から実施しているものです。

平成28年度は、10月14日（金）・10月16日（日）に市内37地点において調査を実施しました。

その調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたしますとともに、本調査にご協力いただきました商店街並びに関係者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

平成29年3月 熊本市
熊本商工会議所

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1 P
2. 実施機関	1 P
3. 調査日時	1 P
4. 調査対象	1 P
5. 調査方法	1 P
6. 調査地点	1 P
7. 平成28年度調査地点一覧	2 P
8. 調査地点図	3 P

II 調査結果

1. 調査結果の概要	4 P
(1) 調査結果の前提	4 P
(2) 調査日の天候	4 P
(3) 前回調査以降の主な動き	4 P
(4) 中心商店街の通行量	5 P
(5) 熊本駅・地域商店街の通行量	5 P
(6) 全体の通行量	6 P
2. 地区別概要	8 P
(1) 中心商店街の地区別概要	8 P
(2) 熊本駅・地域商店街の地区別概要	10 P
(3) 通行量上位地点ランキング	12 P
3. 各地点の調査結果と平成27年度調査結果との比較	13 P
4. 進行方向別通行人数	14 P
5. 過去の調査結果一覧	16 P
6. 各調査地点の通行量詳細	22 P